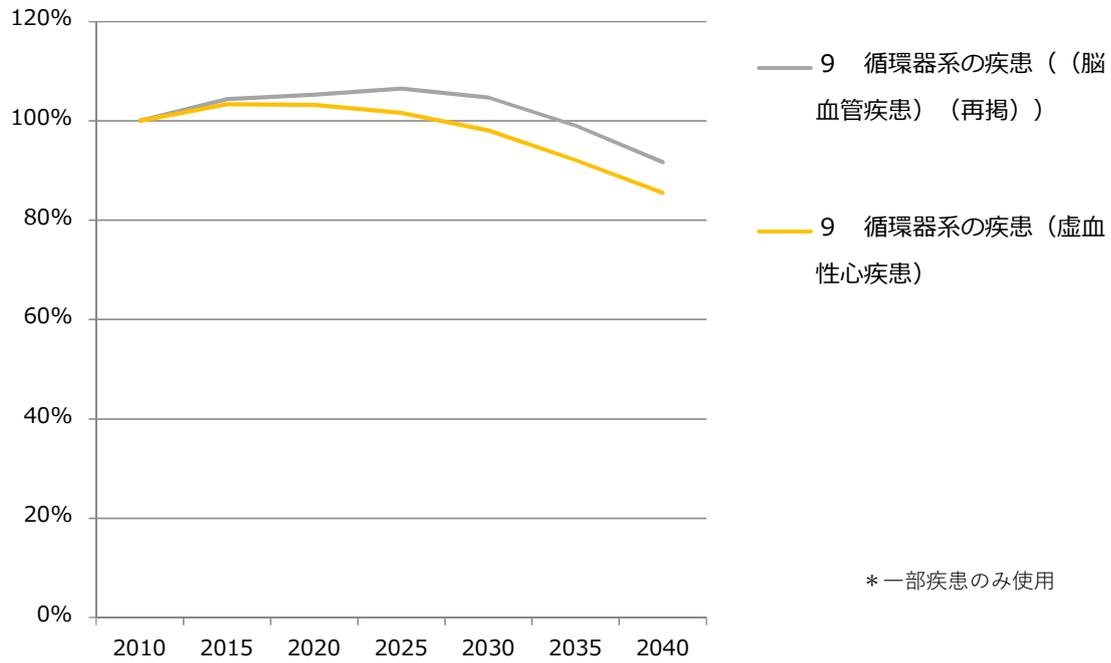


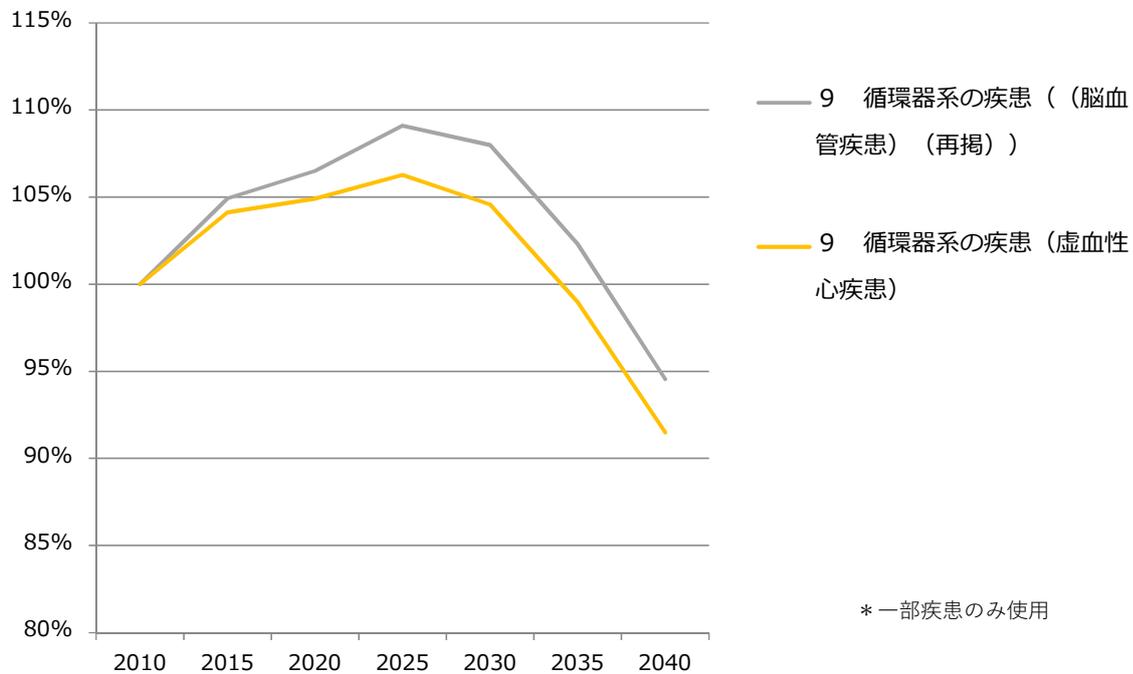
地域医療に関するデータについて（南部保健所）

- ・ 循環器系疾患外来・入院患者推計（P1）
- ・ DPC データによる MDC 別救急患者数(P2)
- ・ 南部圏域における救急搬送の現状(P3～5)
- ・ 心疾患・脳血管疾患における医療提供状況 SCR(P7～8)
- ・ DPC データによる MDC 別総患者数(P8)
- ・ 平成 29 年度病床機能報告(P9)
- ・ 圏域別医療機関への自治医科大学・大分大学地域卒業医師
派遣数(P10)

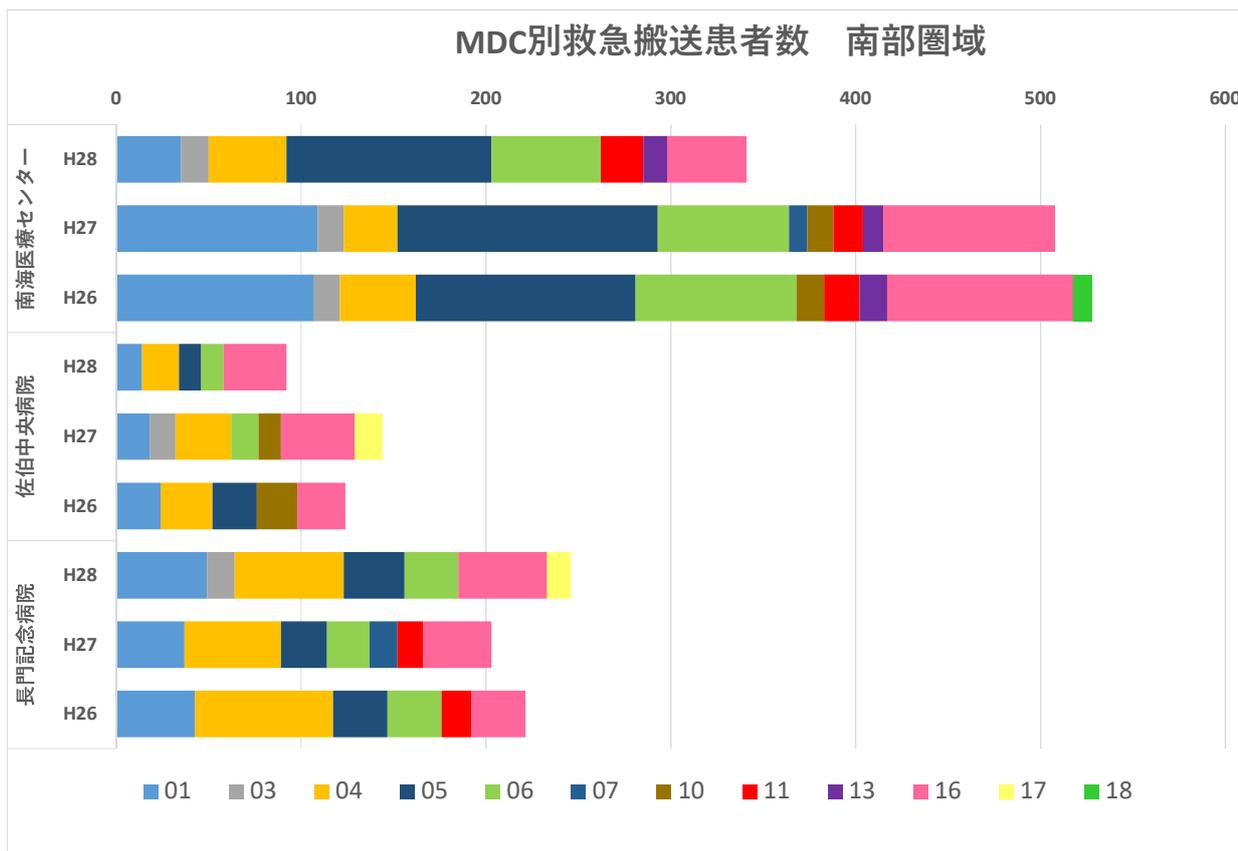
外来患者推計



入院患者推計



資料:地域別人口変化分析ツールAJAPA4.1

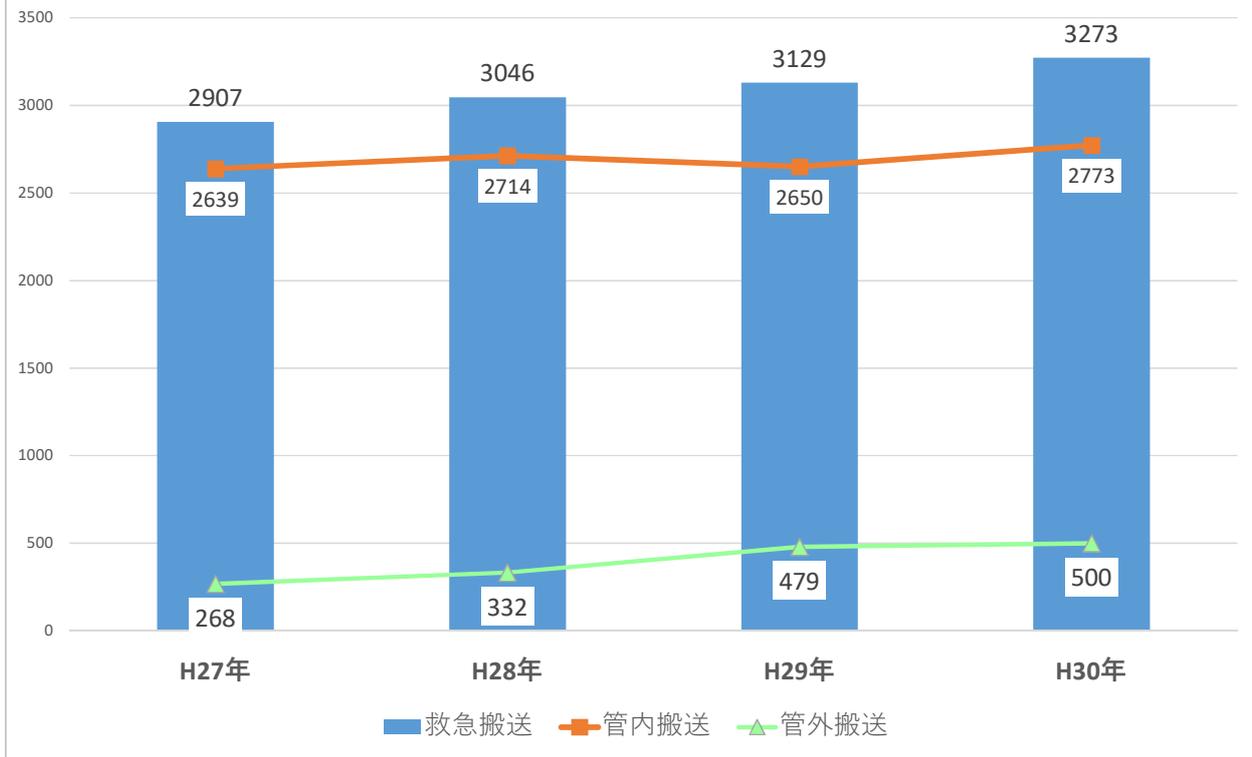


出典：平成26～28年度厚生労働省DPCデータ

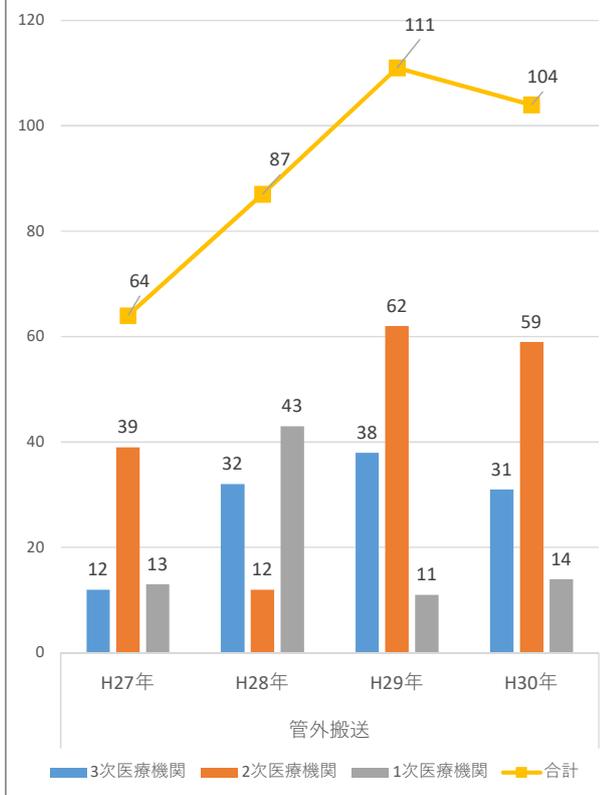
主要診断群MDC		主要診断群MDC	
01	神経系疾患	10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患
02	眼科系疾患	11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患
03	耳鼻咽喉科系疾患	12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
04	呼吸器系疾患	13	血液・造血器・免疫臓器の疾患
05	循環器系疾患	14	新生児疾患、先天性奇形
06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	15	小児疾患
07	筋骨格系疾患	16	外傷・熱傷・中毒
08	皮膚・皮下組織の疾患	17	精神疾患
09	乳房の疾患	18	その他の疾患

- ▶南海医療センター、佐伯中央病院は、H28年の患者数が過去2年より減少。
特に、南海医療センターは、H28年の診療実績が約150人減少。神経系疾患及び外傷・熱傷等が大幅に減少している。
- ▶「神経系・呼吸器系・循環器系・消化器系・外傷等」については、いずれの医療機関でも実績がある（同じような機能をもっている）。
- ▶グラフでは産科・小児科（12、14、15）が不足しているが、DPC対象ではない管内医療機関で診療実績がある。

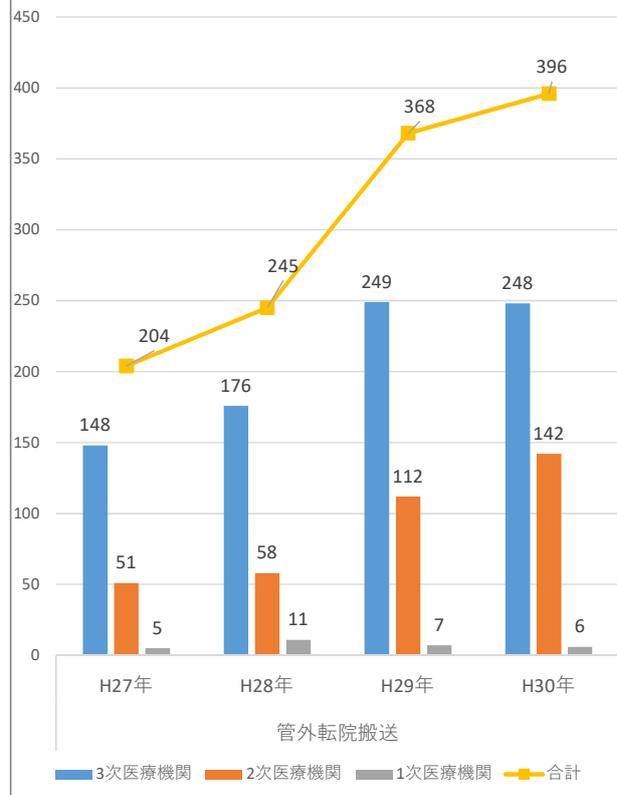
南部圏域における救急搬送件数の推移



南部圏域における管外搬送数の推移

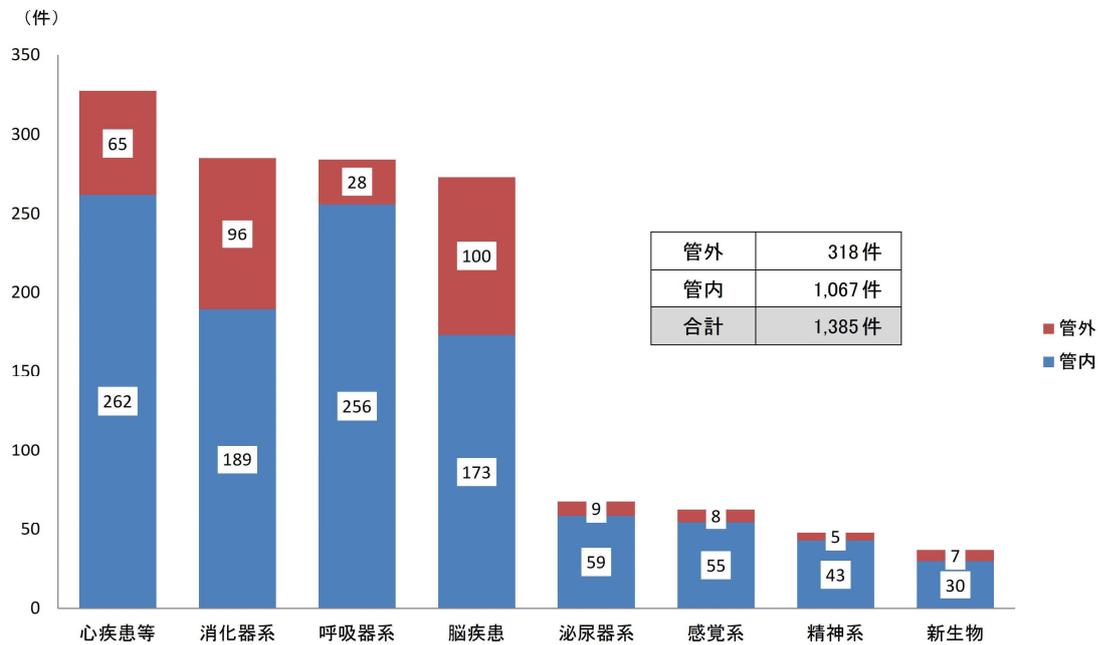


南部圏域における管外転院搬送数の推移



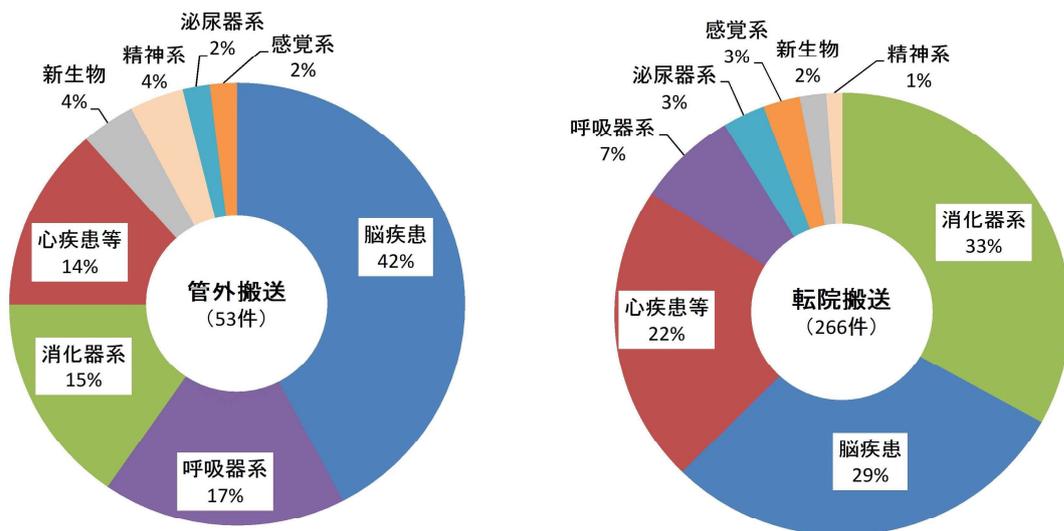
出典：平成30年版佐伯市消防本部救急統計

救急搬送疾病別件数(2017年)



資料: 佐伯市消防本部提供の救急搬送データ(H29)
(ドクターヘリ・ドクターカー、その他・不明確を除く)

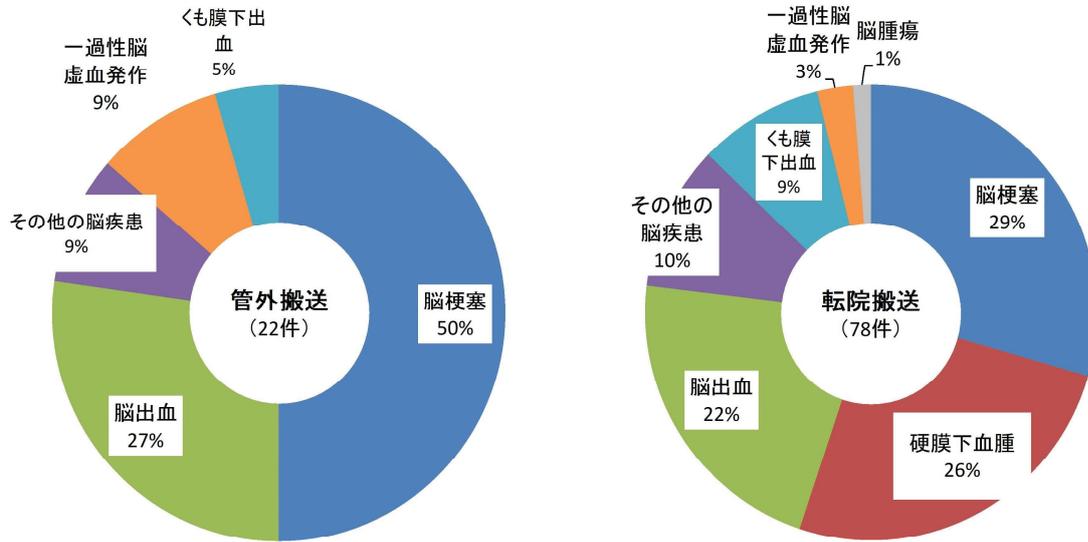
管外・管外転院搬送の疾病別内訳



資料: 佐伯市消防本部提供の救急搬送データ(H29)
(ドクターヘリ・ドクターカーを除き、疾病分類(その他)を除く)

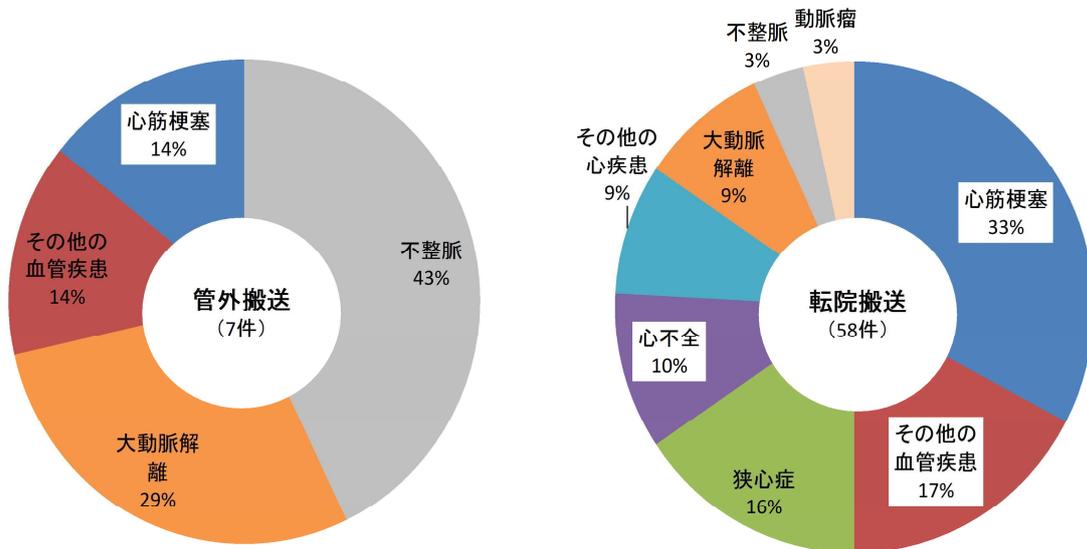
出典: 平成30年度佐伯市救急医療小委員会資料一部抜粋

脳疾患 傷病別内訳



資料: 佐伯市消防本部提供の救急搬送データ(H29)
(ドクターヘリ・ドクターカーを除く)

心疾患等 傷病別内訳



資料: 佐伯市消防本部提供の救急搬送データ(H29)
(ドクターヘリ・ドクターカーを除く)

出典: 平成30年度佐伯市救急医療小委員会資料一部抜粋

大分県におけるSCRの状況（心疾患）

大分類	中分類	指標名	区分	東部	中部	南部	豊肥	西部	北部
心疾患	虚血性心疾患	急性心筋梗塞患者	入院	156.1	135.7	114.2	77.1	80.7	94.7
心疾患	虚血性心疾患	急性心筋梗塞患者（主病名）	入院	124.1	129.3	129.0	24.6	106.4	91.3
心疾患	虚血性心疾患	狭心症患者	入院	194.4	174.0	184.2	148.8	116.8	127.2
心疾患	虚血性心疾患	狭心症患者（主病名）	入院	157.5	170.0	146.4	39.7	68.1	70.5
心疾患	虚血性心疾患	急性心筋梗塞に対するカテーテル治療	入院	133.5	133.5	142.3	5.3	53.0	90.2
心疾患	虚血性心疾患	急性心筋梗塞に対する心臓血管手術	入院	53.3	213.4				
心疾患	虚血性心疾患	狭心症に対するカテーテル治療	入院	132.8	152.7	114.2	75.7	75.5	78.3
心疾患	虚血性心疾患	狭心症に対する心臓血管手術	入院	51.1	194.1				22.3
心疾患	虚血性心疾患	虚血性心疾患に対するカテーテル治療（全体）	入院	127.3	128.5	109.7		38.4	55.6
心疾患	虚血性心疾患	虚血性心疾患に対する心臓血管手術（全体）	入院	50.9	195.1				20.8
心疾患	虚血性心疾患	冠動脈C T撮影	入院	79.8	50.3			5.7	46.2
心疾患	虚血性心疾患	冠動脈造影	入院	146.4	133.0	138.3	0.4	50.9	56.0
心疾患	不整脈	心房細動・粗動患者	入院	164.1	143.0	112.9	120.3	115.8	115.9
心疾患	不整脈	心房細動・粗動患者（主傷病）	入院	84.5	149.9	45.7	91.8	62.4	87.0
心疾患	不整脈	心筋焼灼術	入院	14.2	134.8				10.2
心疾患	不整脈	ペースメーカー	入院	96.7	115.0	86.1	2.2	118.2	112.8
心疾患	不整脈	植込型除細動器	入院	26.6	155.1				
心疾患	その他	大動脈内バルーンパンピング法	入院	75.2	93.7	65.0		84.4	21.9
心疾患	その他	心大血管疾患に対するリハビリテーション	入院	142.3	175.9	95.1		41.3	48.5

出典：平成29年度版 医療計画作成支援データブック
（平成28年度レセプト）

SCR:年齢調整標準化レセプト比

地域間の医療提供状況を比較できるように、NDB（レセプト情報・特定健診等情報データベース）のレセプト出現件数を年齢調整したスコア。

100が全国平均。

表では、赤は120以上、青は80以下、白はほぼ全国平均。

大分県におけるSCRの状況（脳血管疾患）

指標名	区分	東部	中部	南部	豊肥	西部	北部
脳血管障害患者（全体）	入院	158.2	119.4	128.3	99.2	123.4	111.4
脳血管障害患者（全体）（主傷病）	入院	112.9	103.0	92.0	58.3	112.7	99.5
脳梗塞、一過性脳虚血発作患者	入院	163.7	120.4	137.8	104.4	113.3	114.2
脳梗塞、一過性脳虚血発作患者（主病名）	入院	114.8	103.3	104.5	68.2	118.7	101.6
超急性期脳卒中加算	入院	58.8	80.3	13.7			
脳卒中のtPA	入院	75.0	145.2	55.0		46.4	37.7
脳卒中のtPA以外の薬物療法	入院	100.1	135.3	125.8	52.1	169.0	157.5
脳卒中の経皮的脳血管形成術等	入院	36.5	160.2			46.6	44.1
脳卒中の動脈形成術等	入院	63.6	68.8			12.7	75.6
脳卒中に対する急性期リハビリテーション	入院	143.9	131.6	127.6	88.0	108.5	106.4
脳卒中に対するリハビリテーション	入院	134.0	105.9	86.4	49.2	86.8	96.9
脳出血患者	入院	130.2	95.2	82.6	43.4	86.6	94.1
脳出血患者（主病名）	入院	129.2	97.7	68.1	31.8	96.7	78.7
脳出血の脳室ドレナージ等	入院	40.9	34.2			29.7	230.9
脳出血の脳血管内手術等	入院	60.3	72.3			23.9	113.9
くも膜下出血患者	入院	119.9	123.1	84.0	59.9	55.1	95.4
くも膜下出血患者（主病名）	入院	116.7	123.0	41.0	67.7	57.2	82.7
くも膜下出血の脳血管内手術	入院	166.4	223.9			26.0	30.8
くも膜下出血の穿頭脳室ドレナージ術等	入院	60.0	99.6			26.3	70.3
くも膜下出血の脳動脈瘤流入血管クリッピング等	入院	84.2	121.5			132.2	109.4
未破裂動脈瘤患者	入院	136.0	114.4	126.8	39.0	161.5	110.3
未破裂動脈瘤患者（主病名）	入院	66.3	77.7	33.7		176.9	48.5
未破裂動脈瘤の脳血管内手術	入院	49.6	151.4			131.3	64.6
脳血管内手術（全体）	入院	101.7	169.0			74.6	51.4
未破裂動脈瘤の脳動脈瘤流入血管クリッピング等	入院	53.7	38.0			250.0	62.2
脳動脈瘤流入血管クリッピング（全体）	入院	56.9	69.0			144.1	77.6
廃用症候群に対するリハビリテーション	入院	111.0	140.3	85.5	113.2	46.1	76.2

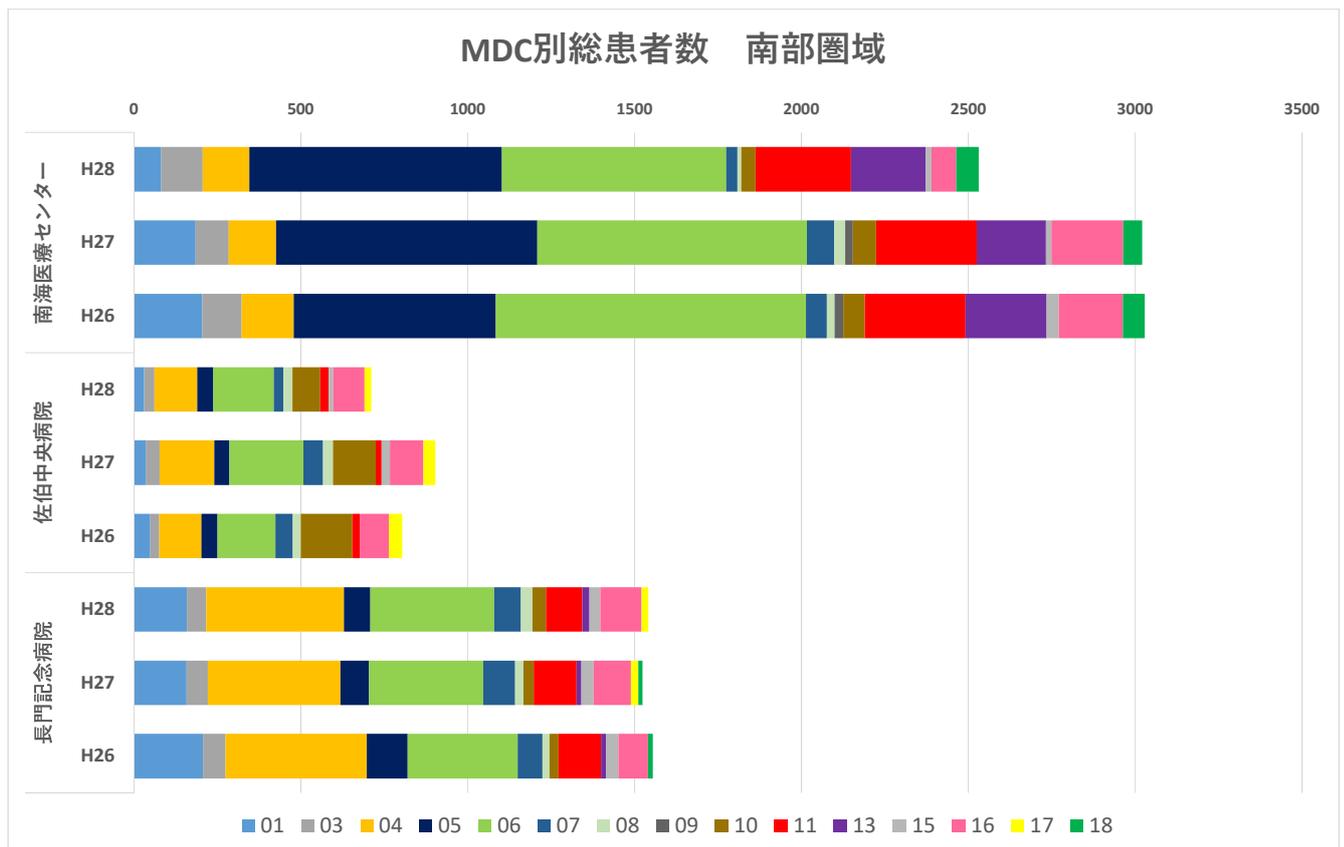
出典：平成29年度版 医療計画作成支援データブック

（平成28年度レセプト）

SCR: 年齢調整標準化レセプト比

地域間の医療提供状況を比較できるように、NDB（レセプト情報・特定健診等情報データベース）のレセプト出現件数を年齢調整したスコア。

100が全国平均。
表では、赤は120以上、青は80以下、白はほぼ全国平均。



出典：平成26～28年度厚生労働省DPCデータ

主要診断群MDC		主要診断群MDC	
01	神経系疾患	10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患
02	眼科系疾患	11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患
03	耳鼻咽喉科系疾患	12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
04	呼吸器系疾患	13	血液・造血器・免疫臓器の疾患
05	循環器系疾患	14	新生児疾患、先天性奇形
06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	15	小児疾患
07	筋骨格系疾患	16	外傷・熱傷・中毒
08	皮膚・皮下組織の疾患	17	精神疾患
09	乳房の疾患	18	その他の疾患

<全体>

- ▶ 南海医療センター、佐伯中央病院は、H28年の患者数が過去2年より減少。
- ▶ いずれの医療機関もほぼ同じ機能（色合いが似ている）。
- ▶ グラフでは産科・小児科（12、14）が不足しているが、DPC対象ではない医療機関で診療実績がある。

<南海医療センター>

- ▶ H28年の診療実績が約500人減少。特に、神経系疾患が大幅に減少。
- ▶ 循環器系・消化器系・腎尿路系・血液免疫系の比率が高い。

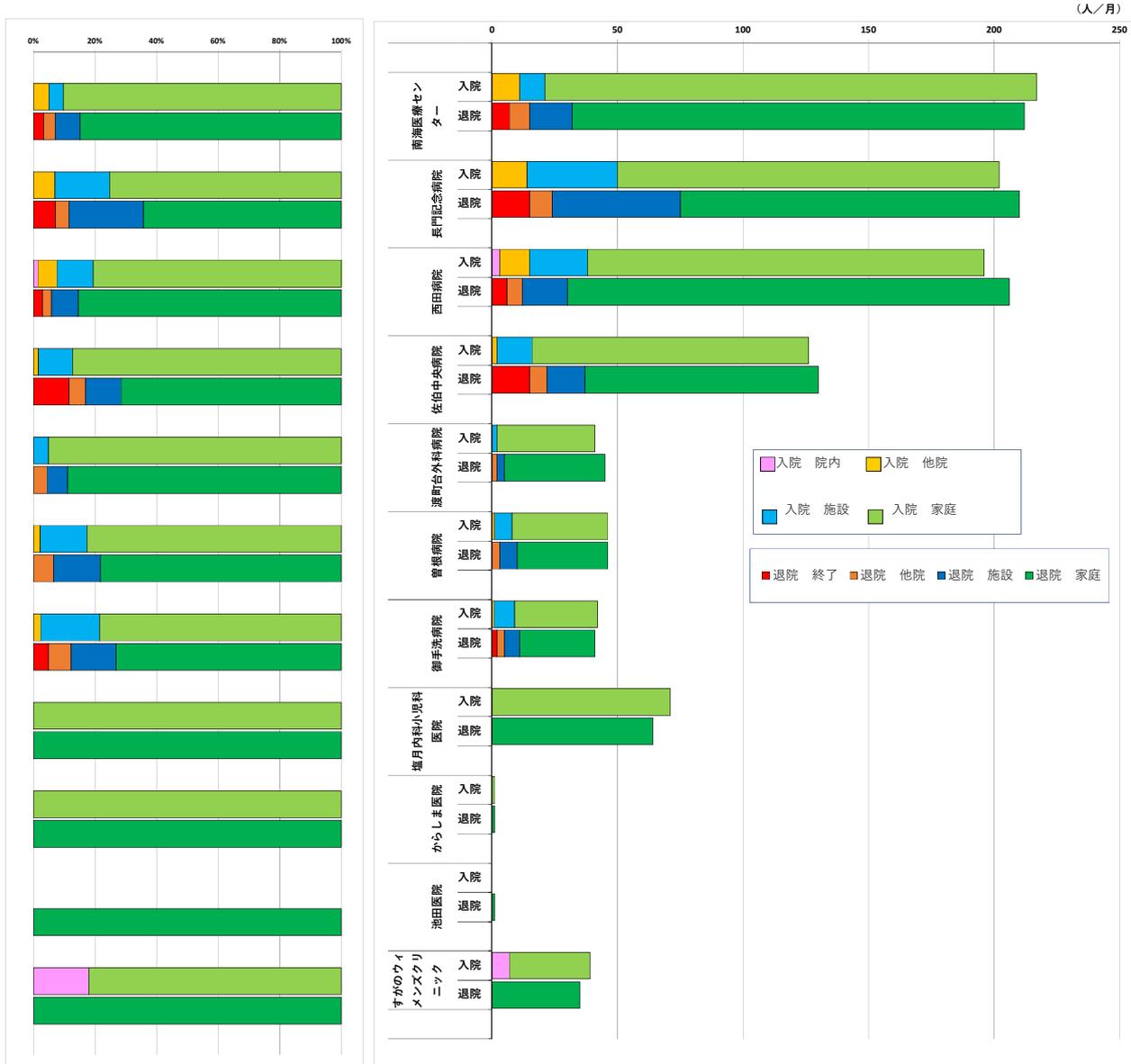
<佐伯中央病院>

- ▶ 内分泌系の比率が高い。

<長門記念病院>

- ▶ 過去3年間の診療実績は横ばい。
- ▶ 呼吸器系の比率が高い。

平成29年病床機能報告（南部医療圏）



▶どの病院も同じような配色になっている
 →「他院からの入院（黄色）」が占める割合が少ない



■南部医療圏における将来の必要病床数からも、「回復期」の不足が見込まれている



今後、どのように各医療機関が機能を分化（役割分担）し、圏域内で必要な医療体制を確保することが必要

【現状（病床機能報告）と必要病床数の比較】

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	未選択等	計
病床機能報告（2014年）（床）	3	894	128	177	21	1223
必要病床数（2025年）（床）	60	305	447	128		940

資料：大分県地域医療構想

圏域別医療機関への自治医科大学・大分大学地域枠卒業医師の派遣数(人)
(義務年限以内の者)

H30.4.1 現在

	自治医科大学	大分大学地域枠
東部	7	2
中部		3
南部	1	
豊肥	2	1
西部		
北部	2	2
合計	12	8

(参考)

学年別 定員・配分枠	2～3名	13名
義務年限 (6年在学の場合)	9年	9年